



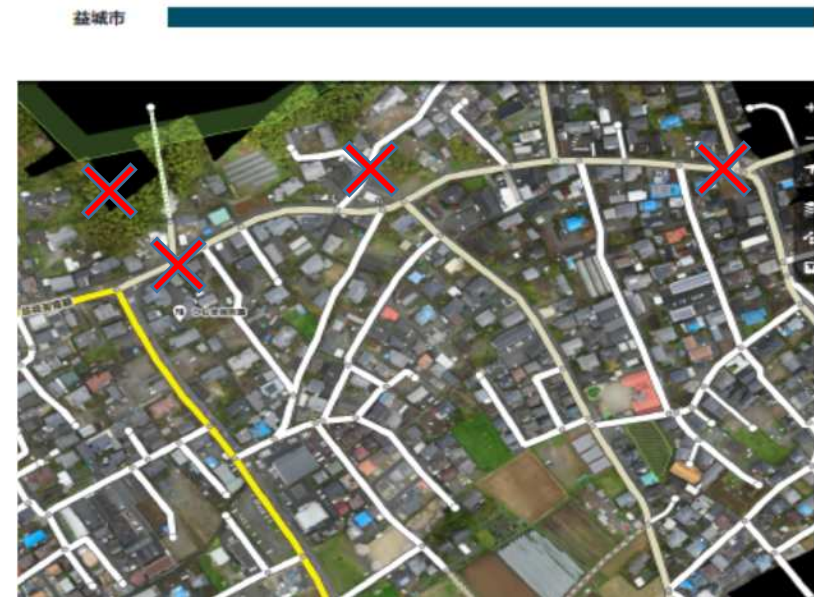
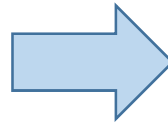
小田原市におけるドローンを 活用した訓練について



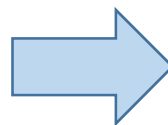
「小田原市での災害等におけるドローンを活用した調査研究・支援活動に関する協定」

昨年12月に、市、**NPO**法人クライシスマッパーズ・ジャパンおよび小田原ドライビングスクールの三者で締結した協定。この協定により、災害時には固定翼ドローン（飛行機型）で小田原市全体を空撮し、回転翼ドローン（ヘリコプター型）で道路等の寸断がある場合でも被害状況の確認ができるようになりました。

《第1段階》 市域全体の把握 ⇨ 対策立案



《第2段階》 個別箇所の具体的状況の把握 ⇨ 対策立案



《訓練概要》

1 日 時

5月22日（金）午前9時～午後5時

2 訓練内容

(1) ドローンによる空撮等（離発着場所）

場 所：酒匂川報徳橋下流側左岸（空撮エリアは、鬼柳・桑原・木工団地地区周辺）

実施者：NPO法人クライシスマップーズ・ジャパン

訓 練：地震発生時を想定し、被害状況の確認のため、小田原市内をドローン等にて空撮を行うとともに、マッピング及び情報共有を行う。

(2) 土砂災害時における人命救助のためのドローンによる情報収集

場 所：久野地内 久野林道及び「塔ノ峰青少年の家」跡地（久野4866-2）

実施者：（株）エムテックス、小田原ドライビングスクール

訓 練：(1)のドローンによる空撮により確認した土砂災害発生で道路が通行不可能となったエリア（想定）について、ドローンによる情報収集、生存者の確認、避難指示を行う。

(3) 総括等（行政機関）

神奈川県政策局未来創生課、くらし安全防災局防災部防災対策課

小田原市防災部防災対策課

《午前訓練：市域の状況把握》

①



②

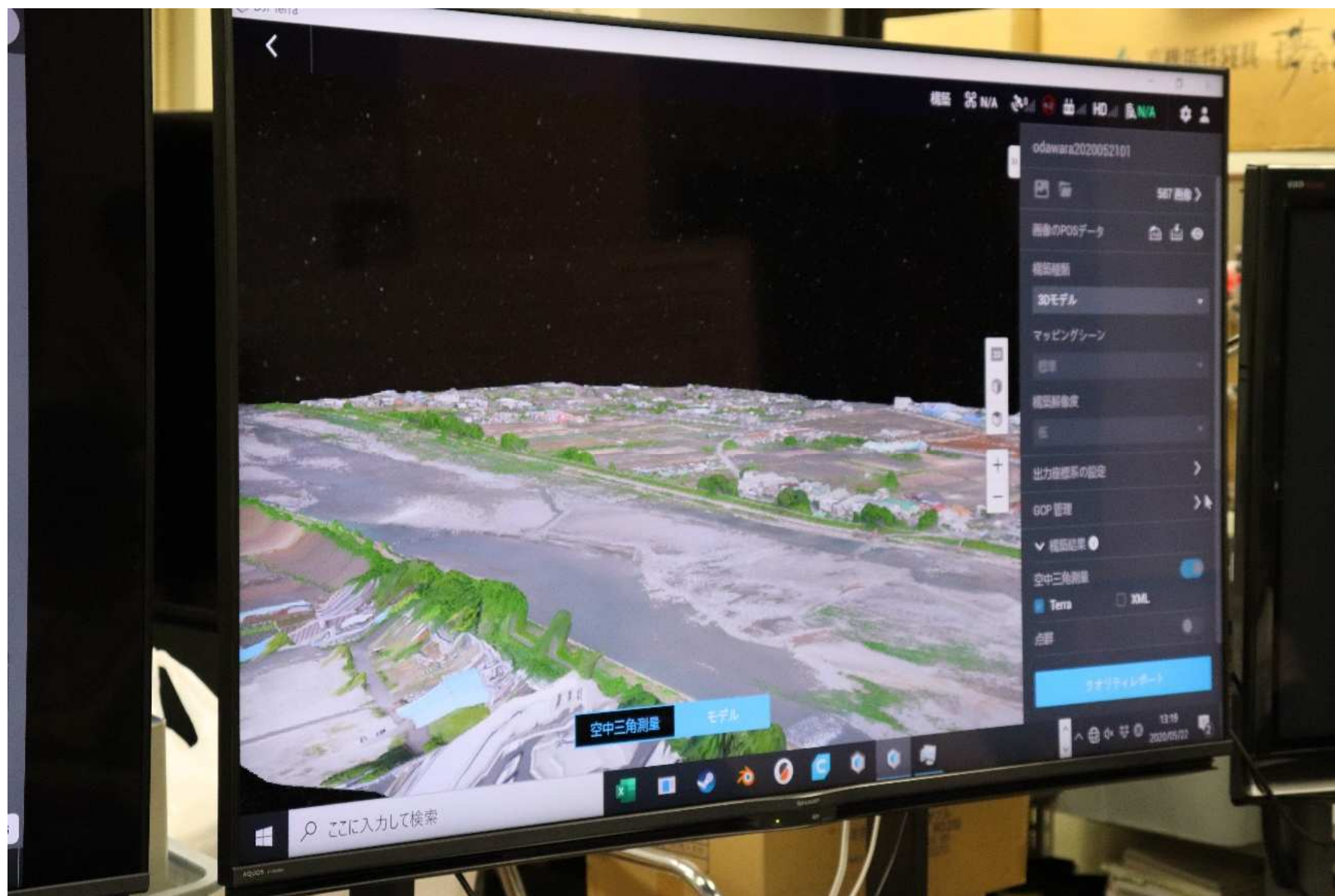


③



④



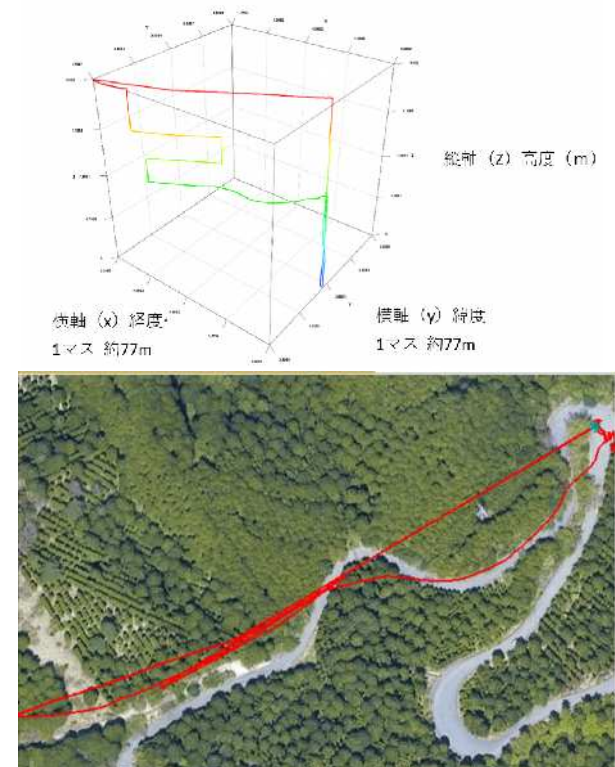


《午後訓練：個別箇所の状況把握》

①



②



③



④



まとめ

- ・ 飛行に係る手続き、動作が簡易であること。
= 簡便性・迅速性
- ・ 面的に把握できることで優先順位が検討できること。
= 迅速性
- ・ 画像を立体的に処理することにより簡易測量よりも詳細な被害状況が把握できること。
= 正確性
- ・ 機械のみを飛ばすことによって、人命に影響が無い。
= 安全性